

中部徳洲会病院

初期臨床研修プログラム
「群星沖縄・中部徳洲会病院プログラム」

令和6年度版

初版 平成23年4月1日

目次

臨床研修プログラム総論

1. 病院理念と基本方針	1
2. 臨床研修理念	1
3. 名称、特徴	2
4. 参加施設の概要	2
5. 研修管理委員会	5
6. 指導医	6
7. 管理運用体制	8
8. 募集定員、選抜基準	8
9. 教育課程	8
10. 評価	8
11. 修了認定	9
12. 修了後のコース	9
13. 研修医の処遇	9
14. 資料請求先	9

各科別研修プログラム

内科	必修	9
救急総合診療部	必修	15
外科	必修	20
小児科	必修	22
麻酔科	必修	26
産婦人科	必修	27
精神科	必修	29
通年研修事項	必修	31
地域医療（僻地離島）	必修	32
整形外科	選択	34
形成外科	選択	35
脳神経外科	選択	36
泌尿器科	選択	38
心臓血管外科	選択	40
放射線科	選択	41

各種評価表

Appendix-1

1. 病院の理念と基本方針

1.1 中部徳洲会病院の理念

- ・ 生命を安心して預けられる病院
- ・ 健康と生活を守る病院

1.2 基本方針

- ・ 年中無休、24時間オープン
- ・ 患者様からの贈り物は一切受け取らない
- ・ 医療技術、診療態度の向上に絶えず努力する

2. 臨床研修理念

2.1 臨床研修の理念

徳洲会は「生命を安心して預けられる病院、健康と生活を守る病院」の理念のもとに、「いつでも、どこでも、誰でも安心して最善の医療が受けられる社会」を目指している。これを実践するため、エマージェンシーケアとプライマリーケアをしっかりと身につけ、小児から老人まで男女を問わずどんな状態の患者様でも的確に診察でき、救急医療、予防医療、離島僻地医療、災害医療など幅広い医療活動を通じて、患者様中心に働き、患者様の痛み、苦しみ、悲しみを理解できる医師の養成をめざす

2.2 基本方針

- ・ 患者様の権利を理解し、安全を心掛ける
- ・ 医療スタッフと連携し、チーム医療を実践する
- ・ 基本的な診療能力を身につけ、様々な環境において適切な検査・治療を計画できる
- ・ 基本的な検査・治療手技を身につける
- ・ 医師として必要なプレゼンテーション能力を身につける
- ・ 生涯にわたって自己研鑽するための学習習慣を身につける

3. プログラムの名称と特徴

3.1 プログラムの名称

群星沖縄・中部徳洲会病院プログラム

3.2 プログラムの目的と特徴

- ① 救急医療とプライマリーケアをベースとし、総合的な臨床能力を有する医師を育成することを目的とした、総合診療方式による2年間の初期臨床研修プログラムである。具体的には初期臨床研修到達目標（厚生省）を目的とする。
- ② 1年次には、救急（4週）、内科（16週）、外科（8週）、小児科（8週）、麻酔科（4週）の各科を必須ローテーションするとともに救急総合診療部は、ローテート科と平行して研修（2年次修了まで）を行う。
2年次には、救急（8週）、内科（8週）、精神科（4週）、産婦人科（4週）、地域医療（8週）を必須とする。また、外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科より1ヶ月を必須選択科とする。他選択科として各科（必須科以外にも泌尿器科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、放射線科）をローテーションできる。
- ③ 2年次の選択科として琉球大学病院、昭和大学附属病院、福岡徳洲会病院及び「群星沖縄」の各施設での研修も可能。
- ④ 初期研修の2年間は、各科のローテーション研修中も重複して救急医療とプライマリーケア研修を行い、疾患の初期診断、治療の実際から、適切なコンサルテーションができるまでを研修する。救急で診察した患者が入院する場合、初期の研修医が配属されている診療科の入院であれば、引き続き病棟担当になるのが原則で、診断治療に伴う病状の時間的経過を研修できるシステムをとっている。
- ⑤ 希望者は3年次以降の日本専門医機構から認定された後期研修プログラムに引き続き参加でき、専門医の資格を取得出来る。

4. 参加施設の概要

4.1 プログラム責任者

中部徳洲会病院 循環器内科部長 轟 純平

4.2 基幹施設名

医療法人徳洲会 中部徳洲会病院			
病床数 408	常勤医師数 110	指導医数 33	標榜診療科数 33
入院：1日平均入院患者数 385 (R5年)		外来：1日平均外来患者数 761 (R5年)	

学会認定教育施設

総合診療領域専門研修プログラム認定 ((日本専門医機構専門医制度))

新専門医制度・日本救急医学会救急科専門医(連携)施設 (正式タイトルでは無い)

日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設

日本集中治療医学会専門医研修施設

日本内科学会教育支援(関連)病院認定施設

日本循環器学会専門医研修施設(旧制度)

日本循環器学会専門医研修施設(新専門医制度)

日本心血管インターベンション治療学会研修施設群構成(連携施設) CVIT

日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設

日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設認定

日本血液学会認定専門研修教育施設

消化器内視鏡学会指導連携認定施設

日本外科学会専門医制度修練施設(新専門医制度)

日本脈管学会認定研修指定施設

日本消化器外科学会専門医(関連)修練施設

三学会構成心臓血管外科専門医認定施設

呼吸器外科専門医合同専門研修連携施設

関連 10 学会構成 腹部ステントグラフト実施施設

関連 10 学会構成 胸部ステントグラフト実施施設

浅大腿動脈ステントグラフト実施施設

日本乳癌学会認定医・専門医制度(関連)施設

日本泌尿器科専門医教育施設

日本透析医学会専門医制度(関連)教育施設

日本麻酔科学会麻酔科認定施設

日本整形外科学会専門医研修施設

日本手外科学会研修認定(関連)施設

日本脳神経外科学会専門医認定研修施設(連携)

日本脳卒中学会専門医認定研修教育施設

日本口腔外科学会認定准研修施設

日本ペインクリニック学会指定研修施設

日本臨床細胞学会認定施設

日本臨床細胞学会教育研修認定施設
 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 日本医学放射線学会専門医修練協力機関承認施設
 日本病理学会研修登録施設
 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術実施施設
 全日本病院協会 健康保険組合連合会指定 日帰り人間ドック実施施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント(一次二期再建・二次再建)実施施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー(二次再建)実施施設
 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
 日本形成外科学会認定医研修施設
 日本臨床検査医学会認定研修施設
 日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設
 日本病理学会認定研修関連施設
 日本小児科学会専門医研修関連施設
 日本胸部外科学会教育施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
 日本脳神経外科学会専門医認定関連施設
 日本呼吸器外科専門医(関連)施設

4.3 診療科ごとの研修可能施設

内科、外科、小児科、麻酔科、外科系選択科	医療法人徳洲会中部徳洲会病院
救急部門	医療法人徳洲会中部徳洲会病院/医療法人徳洲会南部徳洲会病院
産婦人科	友愛医療センター/医療法人徳洲会南部徳洲会病院/名瀬徳洲会病院/中頭病院/沖縄協同病院/
精神科	医療法人 卯の会 新垣病院/医療法人へいあん 平安病院/医療法人一灯の会沖縄中央病院/医療法人社団志誠会 平和病院/沖縄県立精和病院/独立行政法人国立病院機構琉球病院
地域医療	医療法人 沖縄徳洲会 徳洲会伊良部島診療所/医療法人沖縄徳洲会 宇和島徳洲会病院/医療法人沖縄徳洲会 宮古島徳洲会病院/医療法人沖縄徳洲会石垣島徳洲会病院/医療法人沖縄徳洲会 与論徳洲会病院/医療法人社団山形愛心会 庄内余目病院/医療法人静仁会 静仁会静内病院/医療法人徳洲会沖永良部徳洲会病院/医療法人徳洲会 屋久島徳洲会病院/医療法人徳洲会喜界徳洲会病院/医療法人徳洲会 山北徳洲会病院/医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院/医療法人徳洲会 瀬戸内徳洲会病院/医療法人徳洲会 帯広徳洲会病院/医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院/医療法人徳洲会 白根徳洲会病院/医療法人徳洲会 名瀬徳洲会病院/埼玉医療生活協同組合 皆野病院/社会医療法人鹿児島愛心会 笠利病院/社会医療法人鹿児島愛心会 山川病院/社会医療法人鹿児島愛心会 大隅鹿屋病院/社会医療法人鹿児島愛心会垂水徳洲会病院/社会福祉法人函館共愛会共愛会病院
自由選択科	医療法人 エイチ・エス・アール 名嘉村クリニック/医療法人 卯の会 新垣病院/医療法人おもと会 大浜第一病院/医療法人へいあん 平安病院/医療法人一灯の会沖縄中央病院/医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院/医療法人球陽会 海邦病院/医療法人五色会 かじまやクリニック/医療法人社団志誠会 平和病院/医療法人祥杏会 おもろまちメディカルセンター/医療法人清心会 徳山クリニック/医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院/医療法人徳洲会仙台徳洲会病院/医療法人八重瀬会 同仁病院/沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院/沖縄県立精和病院/沖縄県立総合精神保健福祉センター/札幌医療生活協同組合 札幌南青洲病院/社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院/社

	会医療法人 敬愛会 中頭病院/社会医療法人仁愛会 浦添総合病院/社会医療法人友愛会 豊見城中央病院/昭和大学病院/榛原総合病院/西平医院/統合医療センター クリニックぎのわん/特定医療法人 アガペ会 北中城若松病院/特定医療法人アガペ会 ファミリークリニックきたなかぐすく/特定医療法人沖繩徳洲会南部徳洲会病院/独立行政法人国立病院機構沖繩病院/独立行政法人国立病院機構琉球病院/平成会 とうま内科/琉球大学病院
--	--

5 臨床研修管理委員会

プログラムに基づく研修の受入や管理・運営については臨床研修管理委員会で検討する。

当プログラムの特徴として研修可能な施設が多施設に及ぶため、これまで研修受け入れ実績のない施設に関しては群星沖繩臨床研修センター代表ならびに徳洲会グループ研修委員会代表を構成員とすることで、研修管理委員会が機能的に運用できるように配慮している。

委員会役職名	氏名	病院名・所属	院内役職名
研修管理委員長	大城 吉則	中部徳洲会病院・泌尿器科	院長 研修管理委員長
研修管理委員	轟 純平	中部徳洲会病院・循環器内科	プログラム責任者
研修管理委員	伊波 潔	中部徳洲会病院・心臓血管外科	総長
研修管理委員	比嘉 信喜	中部徳洲会病院・内科	特任院長
研修管理委員	大湾 喜市	中部徳洲会病院・麻酔科	顧問
研修管理委員	新垣 辰也	中部徳洲会病院・脳外科	副院長
研修管理委員	渡慶次 賀博	中部徳洲会病院・呼吸器内科	副院長
研修管理委員	山城 聡	中部徳洲会病院・心臓血管外科	副院長
研修管理委員	呉屋 真人	中部徳洲会病院・泌尿器科	副院長
研修管理委員	池原 康一	中部徳洲会病院・外科	副院長
研修管理委員	具志堅 益一	中部徳洲会病院・放射線科	部長
研修管理委員	高江洲 美香	中部徳洲会病院・整形外科	部長
研修管理委員	仲間 直崇	中部徳洲会病院・消化器内科	部長
研修管理委員	長田 博臣	中部徳洲会病院・小児科	部長
研修管理委員	友利 隆一郎	中部徳洲会病院・救急総合診療部	医員
研修管理委員	照屋 いずみ	中部徳洲会病院・看護部	看護部長
研修管理委員	呉屋 済仁	中部徳洲会病院・事務部	事務局長
研修管理委員	真玉橋 顕一	中部徳洲会病院・事務部	事務長
研修管理委員	長嶺 あずさ	中部徳洲会病院・看護部	主任
研修管理委員	喜多 洋嗣	中部徳洲会病院・薬剤部	薬局長
研修管理委員	石崎 理子	中部徳洲会病院・放射線部	副技師長
研修管理委員	与那嶺 淳	中部徳洲会病院・検査部	技師長
研修管理委員	屋田 麿	中部徳洲会病院・医事課	課長
研修管理委員	兼謝名 健	中部徳洲会病院・事務部	総務次長
研修管理委員	高柳 玲	中部徳洲会病院・事務部	課長・卒後臨床研修室
研修管理委員	木村 洋	中部徳洲会病院・事務部	課長補佐・卒後臨床研修室
研修管理委員	赤崎 満	南部徳洲会病院・院長	協力型施設委員（徳洲会）
研修管理委員	玉榮 剛	沖永良部徳洲会病院・院長	協力型施設委員（徳洲会）
研修管理委員	佐藤 佳代子	新垣病院・精神科	協力型施設委員（群星）
研修管理委員	豊里 明	沖繩中央病院 副院長 精神科	協力型施設委員（群星）
研修管理委員	新里 敬	中頭病院 感染症内科	協力型施設委員（群星）
研修管理委員	福本 泰三	浦添総合病院 院長	協力型施設委員（群星）
研修管理委員	比嘉 盛文	豊見城中央病院 センター長	協力型施設委員（群星）
研修管理委員	宮里 達哉	群星沖繩研修センター事務局長	協力型施設委員（群星）
研修管理委員	日田 宗一	前病院事業局長	外部委員
研修管理委員	知念	中部地区医師会	外部委員

6 指導医

内科	比嘉 信喜 (名古屋大学 昭和55年卒)	総合内科専門医、日本内科学会指導医認定医、日本循環器学会専門医 平成15年度 第1回 RyuMIC 臨床研修指導医養成セミナー H15.5/31-6/1 " " 平成21年3月1日(日) 補修
	渡慶次 賀博 (琉球大学 大学院 平成7年)	第20回 徳洲会 G 臨床研修指導医養成講習会 H27.7/11-12
	比嘉 健一郎 (福岡大学 平成13年卒)	日本内科学会認定内科医、循環器専門医 第18回 徳洲会 G 臨床研修指導医養成講習会 H25.3/2-3
	仲間 直崇 (宮崎大学 平成18年卒)	日本内科学会認定内科医、内視鏡専門医 第2回 聖隷福祉事業団 指導医養成講習会 H25.2/17
	轟 純平 (琉球大学 平成18年卒)	総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本循環器学会専門医 日本血液学会認定血液専門医 第23回 徳洲会 G 臨床研修指導者養成講習会 H29.12/27
	中地 亮 (福井医科大学 平成15年卒)	総合内科専門医、日本内科学会内科認定医、日本神経学会神経内科指導医、 日本神経学会神経内科専門医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 第27回 全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ H24.9/9
小畑 慎也 (徳島大学 平成24年卒)	日本内科学会認定内科医、日本救急科専門医 第1回 徳洲会臨床研修病院指導者養成講習会 R3.2/27-28	
外科	伊波 潔 (秋田大学 昭和56年卒)	日本救急医学会専門医、日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本胸部 外科学会指導医、日本心臓血管外科学会専門医、日本プライマリ・ケア連合 学会 指導医 平成15年度 第2回 RyuMIC 臨床研修指導医養成セミナー H16.1/24-25
	山城 聡 (琉球大学 平成3年卒)	日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本心臓血管外科専門 医、 心臓血管外科専門医認定機構修練指導者認定 平成18年度 RyuMIC 臨床研修指導医養成セミナー H19.1/4
	仲宗根 由幸 (福岡大学 平成8年卒)	日本外科学会専門医、日本外科学会認定医、日本消化器がん外科治 療認定医、日本消化器がん外科治療認定医 第1回 徳洲会臨床研修病院指導者養成講習会 R3.2/27-28
	江口 征臣 (山梨医科大学 平成14年卒)	日本外科学会専門医、日本プライマリケア指導医、日本プライマリ・ケア 認定医、日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 第6回 徳洲会 G 指導医養成講習会 H18.12/2-3
	河本 宏昭 (琉球大学 平成17年卒)	日本外科学会専門医、マンモグラフィー読影認定医(評価B) 第1回 徳洲会臨床研修病院指導者養成講習会 R3.2/27-28
	早川 真人 (琉球大学 平成21年卒)	日本外科学会専門医、日本心臓血管外科専門医、日本脈管学会認定 脈管専門医、腹部ステントグラフト指導医、胸部ステントグラフト 指導医、下肢静脈瘤レーザー焼灼術指導医、下肢静脈瘤に対する血 管内焼灼術指導医 第1回 徳洲会臨床研修病院指導者養成講習会 R3.2/27-28
	宮城 幹史 (琉球大学 平成21年卒)	日本外科学会専門医 第1回 徳洲会臨床研修病院指導者養成講習会 R3.2/27-28
小児科	長田 博臣 (琉球大学 平成21年卒)	日本小児科学会専門医 第1回 徳洲会臨床研修病院指導者養成講習会 R3.2/27-28

麻酔科	大湾 喜市 (東京医科歯科大学 昭和52年卒)	日本麻酔学会専門医、麻酔標榜医 第4回九州ブロック医師臨床研修指導医養成ワークショップ [®] H20.5/10-11
	田甫 哲也 (長崎大学 平成8年卒)	麻酔標榜医 第25回 徳洲会G臨床研修指導医養成講習会 令和元年 12/21-22
(集中治療科)	伊波 寛 (弘前大学 昭和52年卒)	日本集中治療医学会専門医、日本麻酔科学会指導医、日本麻酔科学会専門医 平成15年度 第2回臨床研修指導医養成セミナー (A) H6.1.25
	古賀 寛教 (大分大学 大学院平成14年卒)	日本麻酔科学会専門医、日本集中治療医学会専門医、日本呼吸療法医学会専門医 第7回 大分県医師臨床研修指導医講習会 H23.9/11
泌尿器科	大城 吉則 (琉球大学 昭和63年卒)	泌尿器科学会指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、日本透析医学会指導医、日本透析医学会専門医、日本臨床腎移植学会腎移植認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器腹腔鏡)、日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 第2回沖縄県医師会臨床研修・臨床実習 指導医のための教育ワークショップ [®] H16.10/24
	呉屋 真人 (琉球大学 平成5年卒)	日本泌尿器科学会泌尿器科指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、日本透析医学会専門医、日本泌尿器科学会日本内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 平成25年度 RyuMIC 臨床研修指導医養成セミナー H25.10/25
脳神経外科	新垣 辰也 (琉球大学 平成6年卒)	日本脳神経外科学会専門医、指導医 第10回 徳洲会G臨床研修指導医養成講習会 H20.6/7-8 平成22年度 プログラム責任者養成講習会 H22.10/6-7
	詫磨 裕史 (弘前大学 平成23年卒)	第25回 徳洲会G臨床研修指導医養成講習会 令和元年 12/22
整形外科	高江洲 美香 (琉球大学 平成17年卒)	日本整形外科学会専門医 第1回 徳洲会臨床研修病院指導者養成講習会 R3.2/27-28
	小浜 博太 (琉球大学 平成14年卒)	日本整形外科学会専門医 平成23年度 RyuMIC 臨床研修指導医養成セミナー H24.1/29
救急	池田 武史 (大阪医科大学 平成18年卒)	日本救急科専門医 医師卒後教育ワークショップ2014 医師の臨床研修に係る指導医講習会 H26.10/26
	友利 隆一郎 (広島大学 平成23年卒)	日本救急科専門医、日本内科学会認定内科医 第1回 徳洲会臨床研修病院指導者養成講習会 R3.2/27-28
放射線科	具志堅 益一 (愛知医科大学 昭和60年卒)	日本医学放射線学会専門医、マンモグラフィ読影認定医、日本放射線科学会研修指導者認定、県医師会 第1回 指導医のための教育ワークショップ H16.3/6-7
病理科	小川 真紀 (自治医科大学 平成17年卒)	日本病理学会病理専門医 研修指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、日本病理学会認定病理医、死体解剖資格認定 第1回 徳臨床研洲会修病院指導者養成講習会 R3.2/27-28

7. プログラムの管理運営体制

年度の終わりに研修管理委員会を開催し、今年度における研修を評価するとともに必要に応じプログラムおよび運営上の諸々の問題点を検討し、修正すべき点を協議立案し管理委員会の承認のうえで、翌年更新、施行する。新しく承認されたプログラムは、小冊子として公表し、関係者・希望者に配布する。

8. 募集定員及び選抜基準

- 1 定員：定員 10名とする
- 2 選抜方法：院長(研修管理委員長)および、プログラム責任者、看護部による面接評価点、論文評価点、及び実習評価点(研修医による評価)の合計で選抜し、研修管理委員会で承認する。

9. 教育課程

9.1 所属及び研修医配置予定

初期研修の2年間は研修管理委員会所属とし、研修管理委員長を研修責任者とする。
下記はローテーション(例)。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一年次	内科			外科			救急		麻酔	外選	小児科	
	救急総合診療部(当直時)											
二年次	内科	地域医療		救急	産婦	精神	選択科					
	救急総合診療部(当直時)											

※産婦人科は「プログラムに参加する施設」の協力型病院及び施設より選択

※精神科は「プログラムに参加する施設」の精神科協力型病院より選択

※地域医療は「プログラムに参加する施設」の協力型施設より選択

※「外選」は当院の外科系診療科より選択

※選択科員の「プログラムに参加する施設」より選択

9.2 研修内容と到達目標

各科研修プログラム参照

9.3 教育に関する行事

4月初日より14日間のスケジュールで研修オリエンテーションを行う。
3月末に研修修了式を行い、研修修了証を授与する。

9.4 指導体制

内科、外科、救急診療部、小児科については研修医1～2名に対し、原則として上級医と指導医とでチームを作り、研修医1人当たり5人前後の患者を受け持ち診療に当たると共にベットサイドでの実践的な臨床指導を受ける。各診療科の責任者は全般的な研修指導監督を行う。

9.5 当直・救急診療

研修医1名に対し3年次以上の上級医、又は指導医が付き研修医は診療に参加しつつ指導を受ける。

9.6 麻酔科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、研修医1名に対し、指導責任者並びに指導医が直接指導する。

産婦人科については研修医1～2名に対し、上級医もしくは指導医1名をおく。

精神科については研修医1～2名に対し上級医もしくは指導医1名をおく。

地域医療については、2年次の必須ローテート科で2ヶ月の研修を行う。

10. 研修評価とフィードバック

360度評価：研修評価は360度評価の考えに基づき、研修にかかわる多くの職種が多面的に評価しフィードバックする。各々の診療科のローテーション修了の時点で、指導医は研修医の自己評価結果を点検し、到達目標達成を援助すると共に、臨床研修委員会に対して研修医の自己評価結果を実際の研修実績、指導医から見た到達目標の達成度について報告する。看護師、検査技師、薬剤師など関与したコメディカルもEPOC2を用いて研修医を評価する。指導医も研修医により評価される。臨床研修委員会はすべてのデータを慎重に検討し研修修了の認定を行う。

進捗状況：経験すべき手技や症例は、経験するたびに「研修医手帳」もしくは「電子カルテの経験症例登録機能」を用いて研修医自らが記録し、最終的に「EPOC2」に登録し経験状況の進捗管理をおこなう。

11. プログラム修了の認定

厚生労働省が示す初期研修医の到達目標をクリアすることで修了認定とする。

経験すべき手技や症例は、経験したたびに「研修医手帳」もしくは「電子カルテの経験症例登録機能」を用いて記録し最終的に「EPOC2」に登録していく。この結果、常に進捗状況の把握が可能となるだけでなく、速やかに当該症例のカルテを参照することができる。ローテーションが終わるたびに、各研修医は自己評価を行い、指導医、指導者からの評価とフィードバックを受ける。2年修了時に各々の研修医の研修実績をチューター（修了判定に際し、一研修医に対し責任者一人）が調査し、到達目標の達成度を確認して研修管理委員会で報告を行う。毎年3月に行われる臨床研修管理委員会での最終検討で到達目標が達成されたことが認められれば、初期臨床研修プログラムを修了したことを明記した研修修了証書を授与する。

12. プログラム修了後のコース

後期研修先は希望に応じて、当院／他病院のいずれも選ぶことができ、求めに応じて推薦状作成などの支援を行う。当院では常勤として採用され、内科、外科、小児科、救急、泌尿器科、脳神経外科、整形外科などの学会認定医、専門医資格を取得し、専門医として自立できるまでの教育を受けることが出来る。5年間の研修期間を優秀な実績で修了すれば、6年次以降はスタッフとして継続採用される。

13. 研修医の処遇

13.1 常勤・非常勤の別	中部徳洲会病院常勤医師
13.2 研修手当（税込）	1年次 基本手当／月 300,000円 賞与／年 400,000円 2年次 基本手当／月 320,000円 賞与／年 640,000円 ※時間外・休日手当・当直手当は別途支給。
13.3 勤務時間	基本的な勤務時間 8:30～17:00（時間外勤務有）
13.4 休暇	有給休暇 1年次：10日 2年次：11日（夏季・年末年始休暇含む）
13.5 当直	約5回／月
13.6 宿舍	必要に応じてマンションを借上げ（家賃の半額を病院が負担、負担上限は5万円）
13.7 保険	健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
13.8 健康診断	年2回（夜勤者等は2回、35歳以上は人間ドックを受診）
13.9 医師賠償責任保険	病院において加入。個人加入は任意。増額の場合、個人負担あり。
13.10 外部の研修活動	学会・研究会等への参加可（参加費用支給有り）
13.11 応募必要書類	履歴書・卒業（見込み）証明書・成績証明書
13.12 選考方法	面接（臨床実習を通して評価）、小論文
13.13 募集及び選考時期	募集時期：4月1日頃から 選考時期：7月1日頃から
13.14 マッチング参加有無	参加する

14. 資料請求先

〒901-2393 沖縄県中頭郡北中城村字比嘉 801 番地
医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 総務課 木村
TEL 098-932-1110 FAX 098-923-1659